

2022 年 8 月 16 日

博報堂教育財団 第15回、16回「日本研究フェロシップ」

成果報告書

I. 研究成果概要

氏名（フリガナ）	角田拓也（ツノダタクヤ）
在住国名	アメリカ
所属・役職	コロンビア大学東アジア言語・文化学部 助教授
招聘回：招聘研究予定期間 （招聘研究期間）	第16回：2022年3月1日～2022年8月31日 (2022年3月1日～2022年8月31日)
受入機関	早稲田大学
招聘研究テーマ	知識と技術の交錯点：科学映画からみる日本のメディア史
研究目的	劇映画と芸術映画という「正史」に対して、第三の軸として科学映画というカテゴリーの系譜を考えることでメディア史の新たな視座を獲得する
研究成果概要	
<p>1. どのように研究を進めたか（具体的に）</p> <p>主に市ヶ谷にある記録映画保存センターにて資料の試写・閲覧及び整理に取り組みながら、元岩波映画の映画監督である羽仁進氏へインタビューを行った。元岩波、撮影監督のご遺族からもお話を伺い、また資料もご提供いただいた。国立国会図書館、早稲田大学の中央図書館および演劇博物館でも一次資料の閲覧に努めた。岩波映画の創立メンバーの中核の一人である物理学者、中谷宇吉郎関係資料のアーカイブ化に向けたプロジェクトの一員である山永尚美氏（学習院大学）らのご厚意により、『実験物理学者・中谷宇吉郎資料を事例としたアーカイブズ学的実践』に参加し、また石川県にある「中谷宇吉郎 雪の科学館」にて情報収集に努めた。また、中谷宇吉郎財団によるご厚意で資料も閲覧させていただいた。8月後半には、岩波映画で撮影監督および社長職を務められた藤瀬季彦氏（故人）宅を訪問し、資料を閲覧させていただいた。</p>	

2. 研究によりどのような知見が得られたか（具体的に）

中谷宇吉郎の1930年代後半からの映画メディアに対する継続的な興味と、その文脈における1950年の岩波映画の創立は、戦中・戦後の断絶という既存の映画史における通説が必ずしも正しいものではないことを示唆している。具体的には中谷宇吉郎指導のもとで制作された科学映画の『雪の結晶』は東宝文化映画部における企画であり、のちの岩波映画創立メンバーである吉野馨冶（けいじ）と小口禎三（ていぞう）が撮影にあっているが、それ以降にも日本映画社（日映）でも40年代に霧についての記録映画（調査映像のようなもの）も中谷主導で制作されていた。戦後ドキュメンタリー史における岩波の革新的な取り組みは、このような科学映画の系譜のもとで再考され得る。

また、多くの科学映画・教育映画の制作脚本やメモを分析するにあたり、機械的な技術（テクノロジーやデバイス、装置など）と撮影の技法（操作や手順といったテクニック）の記述において、いわゆる劇映画の文化における「演出ノート」とは大きく異なり、映像制作と実験物理の領域を融合したかのような「制作・実験の手引き」としての独特のロジックを見ることができた。このことは、既存の映画研究で広く共有されている「演出」や「監督」といった概念や役割の再考を促す上で重要な手がかりとなり、「メディア・ラボとしての（理科系）研究室」というメディア研究の新しい視座を与えてくれる。

3. 研究成果（予定を含む）

○論文（題目、掲載誌、発行者、掲載月、内容の概略（200字以内））

- ・単著の執筆（英語）を継続中

○口頭発表（題目、イベントの名称、日・場所、内容の概略（200字以内））

・『中谷宇吉郎と岩波映画の系譜』7月30日、ゲーテ・インスティトゥート東京とHaus Der Kunst（ミュンヘン）によって共同開催されたシンポジウム

・『映像とエネルギー（Screen and Energy）Japan and Beyond』1月7・8日名古屋大学シンポジウムにて口頭発表予定

- ・来年度の国際学会にて随時関連資料の発表予定

○その他の活動

- ・岩波関係ファイルのコロンビア大学図書館蔵書とデジタルアーカイブ化（現在交渉継続中）

- ・コロンビア大学東アジア図書館による関係資料の購入

・コロンビア大学における大学院生対象の授業における関係資料の活用

4. 今後の活動予定

当研究を学会やシンポジウムを通して継続的に発信し、北米のみならず欧州（ドイツにおける Konfigurationen des Films など）ドイツにおけるやアジアにおける活動や事例と比較・分析する共同プロジェクトの可能性を模索していきたい。岩波映画を中心とした日本の文化映画・科学映画の北米における上映プログラムの準備および同プログラムの巡回も企画していきたい。学内外から予算を申請し英語字幕の作成などの課題を段階的にクリアしていく。加えて、岩波だけではなく桜映画社、英映画、新理研、東京シネマ、日映新社など日本国内における他の製作所との比較分析も行いたい。